

z u i r i n

長善寺だより

# 瑞林

五・六月号

z u i r i n

令和8年5月11日発行

発行者 瑞林山 長善寺

〒448-0006 刈谷市西境町前山244番地

TEL 0566-36-8386

## 青モミジの永観堂

永観堂公式facebookより

### 永観堂団体参拝報告

4月24日に24名の皆様と本山永観堂で厳修された「御忌」に参拝してきました。

天気は一日を通して素晴らしく絶好のお参り日和でした。

昼食は京都らしく、またちよっぴり贅沢に湯豆腐御膳をいただきました。大変美味しかったです。

本山では、新築された「永観堂会館」で休憩し、いよいよ御影堂へ移動しました。

「御忌」は浄土宗を開かれた法然上人の御祥忌法要です。

50人ほどの僧侶が煌びやかな袈裟を纏い堂内にて一斉に読経する姿は荘厳という言葉がぴったりでした。

皆様も普段見ることがない法要に興味津々のようでした。

法要後は、住職が永観堂内の諸堂を案内しましたが、時間が足りず境内の素晴らしい青モミジへの案内が出来ませんでした。

(すみませんでした)

最後にお土産を買って帰路につきました。

今後も本山には定期的に団体参拝を企画したいとおもいますので是非ご参加ください。

法要内で読まれた法然上人の文章「小消息」の現代語訳を次ページに掲載させていただきます。

釈尊入滅後千年を経た末法の時代に生きる私どもが、果たして極楽に往生できるのかと考えるとき、念仏の行が少なくても疑ってはなりません。一遍や十遍の念仏でも大丈夫（充分）なのです。悪業を犯す罪人であっても疑ってはなりません。阿弥陀仏は「罪深くても、分けへだてはしない」と誓っておられます。

時代が下ったにしても疑ってはなりません。仏教が滅んだ後の衆生でさえ往生することができのです。ましてまだ仏法が遺っている末法の今については言うまでもありません。自身を煩惱にまみれた罪深きものと卑下しても疑ってはなりません。「私たちはもともと誰もが煩惱を具えた凡夫である」と説かれています。

あらゆる方角に浄土は多くありますが、西方極楽浄土を願うのは、大罪である十悪・五逆の罪を犯した衆生までもが生まれるからであります。様々な仏がおられるなかで、阿弥陀仏に救いを求めるのは死に臨むまでたった三遍や五遍しか念仏できずにいるものまで、自らお迎え下さるからであります。

様々な行のなかで念仏を用いるのは、かの阿弥陀仏の本願の行だからです。今、阿弥陀仏の本願に乗じて往生したならば、いかなる往生も成就しないはずはありません。本願に乗じることは信心の深さによります。

受け難い人間としての生を受け、遇い難い本願にめぐり合い、起こし難い覚りを求める心を起こして、離れ難い輪廻の境涯を離れ、生まれ難い浄土に往生すること、それは悦びのなかの悦びであります。

私どもは「十悪・五逆の罪を犯した者でも生まれる」と信じながら、「少しの罪も犯すまい」と思うことが肝心なのです。罪人でさえ生まれます。まして善人は言うまでもありません。行については、「一遍や十遍の念仏でも必ず実を結ぶ」と信じながら、絶え間なく称えなさい。一度の念仏でさえ往生します。まして多く念仏する者は言うまでもありません。

阿弥陀仏は、「四十八の誓いが叶わない限りは、如来となるまい」という言葉を成就して、現にかの極楽国におられますので、必ず命の終わる時にはお迎え下さるでしょう。釈尊は、「よいことだ。念仏者は私の教えに随って迷いの境涯を離れる」とお見通しになり、六方の世界におられる諸仏は、「悦ばしいことだ。私たちの証言を信じて、極楽浄土に生まれる」とお悦び下さっているでしょう。

この生涯で阿弥陀仏の本願にめぐり合えたことを天を仰ぎ、地にひれ伏して悦びなさい。立ち居起き臥し、いつ何時も、かの阿弥陀仏の恩徳に報いるべきです。頼みとした上になお頼みとすべきは、「ほんの十回の念仏する人でも救い取ろう」という阿弥陀仏のお言葉であります。信じた上にもなお信じるべきは、「念仏すれば必ず往生することができる」という一文であります。



昨年秋に開催し大好評だった  
重松氏のコンサートが第二弾と  
して戻ってきます！  
住職のお経とピアノの  
コラボ演奏もあります。  
是非お聴き下さい。

「時を重ね、音はさらに自由になる」

生きとし生けるものと共鳴し続けるピアニスト重松壮一郎。  
プロ活動22年目、いま最も深く、いま最も開かれた響きへ。



全国各地、そして海外でも、その瞬間・その場かぎりの音を届けてきた重松壮一郎。  
22年の歩みのなかで音楽は、より深く、より自由なものへと育てられてきました。  
常に変化し続ける「いま、生きてる音」。聴く人それぞれの時間や感情と静かに重なり合いながら、  
この瞬間にしか鳴らせない重松壮一郎の音に、ぜひ出会いにいらしてください。

**重松壮一郎** ピアニスト / 作曲家 / 即興演奏家

横浜出身。早稲田大学卒。クラシック、ロック、ジャズなどを経て、即興演奏とオリジナル曲を主体とした独自のスタイルを確立。年間の約150回に及ぶライブを国内外で精力的に行う。アメリカ、オーストラリア、タイ、ヨーロッパなど、世界各地での公演実績を持つ。「生きとし生けるものすべてに向けた音」をテーマに磨り上げるオリジナルティあふれる楽曲と、人と自然をつなげるようなオーガニックな音色は、ジャンルや世代、国境を越え、人々を魅了し続けている。音楽を通じて平和活動にも積極的に取り組み、被爆ピアノの演奏や平和コンサートの企画、被爆者とのコラボレーション、原爆をテーマにした楽曲制作などを展開。子どもの歌の作曲や映像作品、CMへの楽曲提供など、多方面でその才能を発揮している。これまでに、多くの作品をリリース。アルバム、シングルはネットでも好評配信中。2023年、10年ぶりとなるソロアルバム「beyond」をリリース。2025年、インターハイ開会式にて楽曲が採用される。コロナ禍以降は、重松壮一郎YouTubeチャンネルでのライブ配信やPodcast「Soso's Radio」の配信、子どもたちの楽団活動、音楽劇「共生する音楽」の企画制作など、新たなクリエイティブな挑戦を続けている。



YouTubeにて  
演奏動画を  
配信中!



SNS  
リンク集

Music for all living things

その音は、風となり、  
森となり、祈りとなる

# 重松 壮一郎

Sohichiroh Shigematsu Concert Tour

コンサート・ツアー2026



6/27 土 [愛知公演] 長善寺 (刈谷市)

[ツアーに関するお問い合わせ] みずのえ mail: soso@livingthings.org / tel: 090-6518-6963



コンサート情報

**愛知** 重松壮一郎  
ピアノ・コンサート  
音の祈り〜本堂に響く即興の調べ

とき ● 2026年6月27日 (土)  
会場 ● 長善寺  
時間 ● 開場14:30 開演15:00 (終演予定17:00)  
料金 ● 大人2500円 中高生1500円 小学生以下無料

\*1ドリンク付き / サンディッチの販売もあります。  
\*オープニングに朗読とピアノのコラボがあります。お楽しみに。



ご予約 & お問い合わせ

●みずのえ (10:00-18:00)  
tel: 090-6518-6963

●ライブの詳細・オンライン予約

重松壮一郎 検索



申込はスマホから  
かんたん予約



homepage



YouTube



長善寺ホームページ・facebook・LINEで新しいお知らせを  
更新しています。どうぞご覧ください

仏讃歌の会  
参加費 300円  
次回は 5月12日、6月9日 10時から  
どうぞご参加ください

仏讃歌の会

参加費 1回 1000円  
持ち物 ヨガマット・タオル

隔週 月曜日 9時30分〜

お寺ピラティス

お経・ラジオ体操・お掃除・お茶で約一時間

お寺で朝活「テンプルモーニング」  
毎月一日の朝はお寺で心の掃除とラジオ体操  
誰でも参加OK、参加費なし  
どなたでもお気軽に参加ください。  
開催日 毎月1日 4月〜10月 朝6時から  
11月〜3月 朝7時から

